

年度評価シート

課名 中山間地振興課

施設の名称 清水森林公園	指定管理者名 清水森林組合
1 履行状況	
<p>(1) 目標達成状況</p> <p>ア 5年後（令和9年度）の利用者数</p> <p>黒川キャンプ場：目標値 8,200 人、実績値 6,977 人、 達成率 85.1%（令和5年度時点）</p> <p>【参考】令和元年度（コロナ前） 実績値 8,270 人</p> <p>ぬくもりの家：目標値 670 人、実績値 586 人、 達成率 87.5%（令和5年度時点）</p> <p>【参考】令和元年度（コロナ前） 実績値 833 人</p> <p>(2) 施設利用状況</p> <p>ア 黒川キャンプ場利用者数 6,977 人（前年度 5,290 人）（前年度比 131.9%）</p> <p>イ ぬくもりの家利用者数 586 人（前年度 493 人）（前年度比 118.9%）</p> <p>ウ 講座受講者数 373 人（前年度 687 人）（前年度比 54.3%）</p> <p>(3) 人員配置状況</p> <p>職員 1 人、パート 2 人</p> <p>(4) 業務実施状況</p> <p>清水森林公園条例第 3 条に規定する各種事業について、業務仕様書及び事業計画書に従って実施されている。</p> <p>主な事業</p> <p>ア 施設維持管理</p> <p>イ 各種情報の提供</p> <p>ウ 自主講座、イベント等の開催</p> <p>エ 黒川キャンプ場及びぬく森の家の利用許可 等</p> <p>【検証・分析等】</p> <p>指定管理者（第 4 期）4 年目、令和 5 年度の利用者数は 7,936 人となり、前年度の 6,470 人と比較して 122.7% の増加となった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したこと、令和 5 年 6 月に導入したインターネット予約サイト「オクシズばった」により利便性が向上したことが一因と考えられる。コロナ禍前の利用者数に戻りつつある一方、近年の異常気象のため、天候が不安定となり、やむを得ないキャンセルが多い状態である。</p> <p>笑味の家ややませみの湯、近隣自治会と共同し、10 月に「清水森林公園秋祭り」を、3 月に「桜祭り」を開催し、地域振興に努めている。</p> <p>業務実施状況も仕様書を履行しており、今年度の履行状況は適正である。</p>	

【確認結果】

○：協定書等の内容が適正に履行されている。

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

【具体的な意見・要望の内容と対応状況】

意見等：キャンプ場対岸の木が枯れているようで危険である。

対応：速やかに確認。完全に枯れてはいなかったが、安全のため、伐採までの期間は周辺にロープを張り注意喚起の看板を設置した。

意見等：スズメバチの巣があるので取り除いてほしい。

対応：すみやかに取り除いた。

意見等：公園周辺の私有地の田んぼにて無断で生き物を獲っている人がいるのでやめてほしい。

対応：私有地での採集禁止の看板を設置した。

【検証・分析等】

利用者からの意見・要望に対しては概ね適切な対応がとられており、良好な対応がなされている。

【確認結果】

○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は改善に向けて作業中である。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

（1）利用者満足度調査

【調査結果】

回答者総数：318件、「満足」「やや満足」と回答した人数

① 施設の印象 100.0%（前年度90.0%）

② 従業員の態度 99.7%（前年度90.3%）

【検証・分析等】

2項目の平均値で算出した満足度は99.9%（前年度90.2%）であり、良好な評価を得ている。

マニュアルを整備し、利用者から苦情をもらうことがないように努めていることも大いに評価できる。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

（2）市民アンケート

【確認結果】

－：未実施

（3）その他の調査

【確認結果】

－：未実施

4 指定管理者の経理状況の評価

【収支状況】

指定管理業務についての収支状況については、適正に執行されている。

【検証・分析等】

指定管理業務の収支状況については、昨年度からの物価高騰は続いているものの、概ね予算のとおり執行されている。また、会計帳簿類も整理されており、適正な経理が行われている。

【確認結果】

○：安定的な施設運営を行っており、また今後も継続できる見込みである。

5 総合的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

【検証・分析等】

危険箇所へ迅速な対応や、近隣住民への配慮等、利用者全体の安全に配慮した運営を行っており、アンケートも高評価であることから、業務は適正に行われていたと評価できる。また、周辺施設等と協力したイベントの実施や、地元団体と委託契約を締結するなど、地域と密着、連携した運営を心掛けていると言える。

令和5年6月のインターネット予約サイト「オクシズばった」の導入にあたっては、市との入念な打合せを行い、指定管理者自身によるエラー対策や、電話受付のみだった従来の運用とを比較して利用者や対応する職員が混乱を招かない工夫を行うなど、積極的な姿勢が見られた。

黒川キャンプ場において、利用者数は増えつつあるが、コロナ禍を経てソロキャンパーが増えていることから、大幅な増加は難しく、むしろ利用件数が増加していくことが予想される。

時代の変化に応じた利用者対応を行い、引続き地域振興の拠点として地域との連携による施設運営を期待する。

【評価結果】

○：良好な管理運営であった。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。